

中生品種の着色管理

9月半ば以降は岩手の主力品主種である「ジョナゴールド」「ふじ」などの着色管理や収穫が本格化する時期となります。着色管理作業や収穫の遅れは、著しく商品価値を落とすので、労働力が不足がちな大規模リンゴ団地では、効率よく作業を進めるようにします。

果実の着色は、光と適度な温度と果実内糖度が 필요합니다。果実に直接光を当てるようにすることと、一度に過度な葉摘みは避けて、着色度合を見ながら2～3回に分けて行うことが大切です。

葉摘みの開始は、中生品種は収穫20～30日前、晩生種が30～40日前が目安です。

また、台風に備えて防風ネットの設置や補修、枝つり、樹体を支柱へしっかり結束するなど、これまでの教訓を生かして、事前に万全の対策をしておきましょう。



【 ジョナゴールド 】

※「農作物損害防止関連情報 台風被害対策」も併せてご覧ください。

写真：岩手県農業研究センター 果樹研究室より